

# Cardiopulmonary exercise testing for patients with anorexia nervosa: a case-control study

山下, 真

<https://hdl.handle.net/2324/6787699>

---

出版情報 : Kyushu University, 2022, 博士 (医学), 論文博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (2)

(別紙様式2)

氏名	山下 真
論文名	Cardiopulmonary exercise testing for patients with anorexia nervosa: a case-control study
論文調査委員	主査 九州大学 教授 中尾 智博 副査 九州大学 教授 山浦 健 副査 九州大学 教授 筒井 裕之

### 論文審査の結果の要旨

神経性やせ症（AN）患者に適切な栄養療法と身体活動管理を行うためには、安全でエビデンスに基づいた運動強度基準の確立が望まれる。本研究において申請者らは、心肺運動負荷試験（CPX）を用いてAN患者の運動耐容能を評価した。2015年から2019年にかけて摂食障害専門病棟に入院した女性AN患者14名を対象にCPXを実施し、運動耐容能の評価により彼女らの嫌気性代謝閾値（AT）を決定し、14名の健常対照者（HC）と比較した。ATに到達した際の代謝等価値（AT-METS）を比較した。関連する因子として、年齢、BMI（body mass index）、過去の最低体重、最低BMI、過去のBMI<15の期間、運動歴、 $\Delta$ HR（AT時の心拍数-安静時心拍数）等を検討した。結果、AN群のATおよびAT-METSは、HC群に比べ有意に低かった。本結果にもとづき、申請者らは、AN患者には軽強度の有酸素運動を処方すべきであると提案している。

以上の成績は今後のAN患者の身体管理指針の策定に役立つ、重要な知見であると考えられる。本論文についての試験はまず論文の研究目的、方法、実験成績などについて説明を求め、各調査委員より専門的な観点から論文内容及びこれに関連した事項について種々質問を行ったが適切な回答を得た。

よって調査委員合議の結果、試験は合格と決定し、博士（医学）の学位に値すると認める。